



授業科目名[副題]	担当教員[所属]
生物系統分類学 Introduction to the Tree of Life	川窪 伸光 [応用生物科学部] 土田 浩治 [応用生物科学部] 伊藤 健吾 [応用生物科学部] 千家 正照 [応用生物科学部]

開講年度	2008	
科目開講学部	応用生物科学部	
対象学科	生産環境科学課程	
授業科目区分	科目区分	専門科目
	科目分類	生産環境科学課程
	判定科目区分	
対象学年	2年	
対象者の制限		
開講学期	前学期	
開講時間割	木曜 3限	
開講時間割特記事項		
授業の形態		
単位数	2	
必須・選択の別		
教室	[応生]102	

[注] 開講時間割・教室は変更となる可能性があります。変更となった場合は掲示等でお知らせします。

履修コード	科目番号	カリキュラム
ABA00050	5	応用生物科学部(2004)

1. 授業のねらい(授業のねらい・目標・学習達成目標)

似て非なるものの集合体, 生物たち。地球上にはおびただしい数の生物種が生息している。それら1種1種は, 人類の歴史をとおして認識され, 命名されてきた。原始時代の食物, 毒物識別から, 大航海時代の形態に基づく自然史的分類。そして現代の遺伝子DNAに基づく, 分子系統分類に至るまで, 私たち人類は生物を認識・分類し続けてきた。この講義では, 現在, 認識されている生物多様性を俯瞰し, 進化的背景のもと, 生物分類の基礎を学ぶ。

2. 授業計画(授業形態・修得しておくべき科目など)

1. ガイダンス(川窪) / 講義の進め方; 調査種の公開; 個人調査種の決定形(かたち)とは何だろう?
2. 系統分類とは何か(川窪) / 人類の生物認識史; 自然史的な生物研究史人工物と生物の対比
3. 進化とは何か(川窪) / 進化理論史; 現在の進化学
4. 両生・爬虫類・哺乳類1(個人発表・議論)(川窪)

5. 両生・爬虫類・哺乳類2 講義(川窪)
6. 植物1(個人発表・議論)(川窪)
7. 植物2 講義(川窪)
8. 昆虫1(個人発表・議論)(土田)
9. 昆虫2 講義(土田)
10. 魚類1(個人発表・議論)(伊藤)
11. 魚類2 講義(伊藤)
12. 鳥類1(個人発表・議論)(千家)
13. 鳥類2 講義(千家)
14. まとめ・生物多様性の理解(川窪)

「生物形態学」を習得しておくことが望ましい。

3. 教科書・テキスト・参考文献等

特に教科書は指定せず、プリントを配布する。また講義中、適時、参考図書、映像を紹介する。

4. 試験・成績評価(試験の方法・成績評価の基準及び方法)

この講義は、受講者のPPT発表によって進みます。初日のガイダンスは必ず出席のこと。各人の調査発表担当種の決定を行います。

5. その他特記事項

- 【受講者へのメッセージ】#
- 【オフィスアワー】#
- 【連絡先】[居室] #
 - [電話] #
 - [メール] #
- 【受講に必要な経費】#

シラバスURL	https://syllabus.gifu-u.ac.jp/syllopen/SyllabusViewAction.do? courseID=20081ABA00050
---------	--

CourseID	20081ABA00050
----------	---------------

閉じる